cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cine

シネマズライフ

2013年8月23日発行 第45号　http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹 諒音（たかぎ りおん）

【最近のこれはまずいぞ！】『死霊館』オカルト映画らしいが、公開されるの秋やし～。題名からしてまるっきしB級ぽくって潔い。

【最近のこれはお見事！】『空飛ぶ金魚と世界のひみつ』荒唐無稽だが、なんだか魅力的な題名。

映画の風景　日本の風景

⽊ 神奈川県・横浜 ⽊

今のヨコハマの街 →

昔・『ヨコハマメリー』という映画があった。こんな映画だ。

今でも、昔の異国情緒が漂う横浜。《ヨコハマメリー》という娼婦が街に立っていた。戦後直後から50年美貌の娼婦として名を馳せた女だ。老婆になっても白塗りで貴婦人のような衣装。同情も施しも貰わずその凛とした風情は、街の風景の一部になっていたという。

そんなメリーさんを気にかけていたのは、シャンソン歌手の永登元次郎。彼も横浜では有名で、シャンソン酒場を経営していた。ゲイボーイとして働き、若い時にはやむなく男娼として街角に立っていたという永登氏も時代の混乱の中、地を這うように生きてきた時代の証人だ。

永登氏そして、メリーさんの横浜周辺の人達から語られるのは、底辺で生きる人たちの物語だった…。

なぜ、そこに《ヨコハマメリー》がいなければならなかったか。地を這うように生きた人達の《歴史》がこの映画から読み取れる。

横浜は江戸時代末期、ペリー率いる黒船が来航。以後、横浜には最先端の文化が集まったと同時に、多くの人々の影の部分も育ってきたのではないかと思う。

今日も横浜に夜がやってくる。今の横浜にはメリーさんはいない。しかし再び、彼女のように時代に翻弄された人々が現れないように願うばかりだ。

『ヨコハマメリー』2005年　日本　監督：中村高寛 出演：永登元次郎 五大路子 杉山義法 清水節子 広岡敬一 団鬼六 山崎洋子

映画の題名は《ヨコハマメリー》だが実は、戦後日本の底辺を生きた人々の物語でもある。戦後日本のあだ花の生き方は清々しい。

コラム

自然と人が共存するという事。

中編

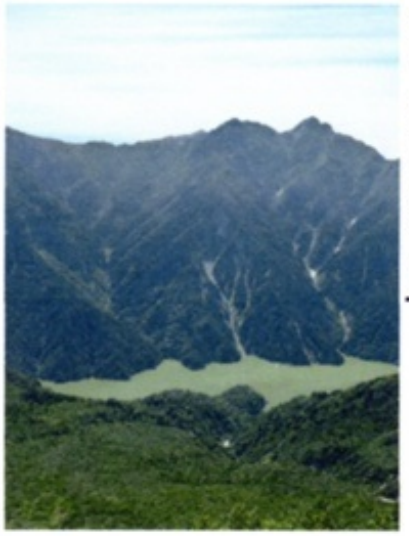
黒部川の水力発電は、大正時代から始められており、戦前にも作られていた。しかし、昭和31年(56年)に着工した工事は立山の山々がそびえ、苦難を極め、トンネル工事もままならない。そこには、立山の豊富な水が、破砕帯から吹き出し、多くの犠牲者を出してしまう。

しかし、工事を中止する事もできず、水抜きトンネルを作り、薬剤とコンクリートで固めるグラウチングという当時最新の技法を使い、破砕帯を突破。トンネルは貫通し、工事が迅速化。昭和38年(63年)にダムは完成した。

一方、このプロジェクトは関西電力によって映像化されており、4部作。昭和31年(56年)から昭和38年(63年)まで、多くの人を受け付けない地での工事の困難さと、破砕帯の工事の苦難などを映像化。また、完成時にはNHKの生中継で、ヘリコプターで空中撮影され、その雄大な風景がオンエアされた。

昭和43年(68年)には、主演に三船敏郎、石原裕次郎で『黒部の太陽』が公開。この難工事を描いている。

この黒部ダム工事は、高度成長時代の日本の象徴となっていった。しかし、それは日本に存在する美しい自然を《高度成長》という大義名分の為にないがしろにする前兆だったのかもしれない。



↑立山の黒部川の人造湖《黒部湖》

以下次号。

cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cinemaz-life cine

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

『テルマエ・ロマエ』

日本映画専門チャンネル

2012年 日本

監督：武内英樹 原作：ヤマザキマリ

出演：阿部寛 上戸彩 北村一輝 竹内力 宍戸開

8月25日(日)21:00 9月1日(日)14:00
9月4日(水)23:00 9月7日(土)21:00

古代ローマ。浴場設計技師ルシウスは、生真面目な性格が災いして、仕事に行き詰っていた。

ある日、アイデアに思い悩んでいて浴場へ行き、そこで突然湯殿で溺れてしまう。ところが、気が付くと21世紀の日本。そこは、東京の由緒正しい【銭湯】！しかし、最初ルシウスはそこが《21世紀の日本》とは気付かず、日本のお風呂システムに大いに驚く。そうこうしているうちになぜか古代のローマに戻ったルシウスは早速古代ローマの浴場に日本のお風呂システムを導入。幾度もタイムスリップしルシウスは評判の浴場設計技師になり、ついに皇帝・ハドリアヌスに気に入られる。

実は、ルシウスがタイムスリップする先々で必ず漫画家志望の真美がおり、真美はたまに見かけるルシウスに興味を持つ。ところが真美までも古代ローマにタイムスリップしてしまい…。

独身偏屈男を演じて好評を博した阿部寛が、今度はローマの堅物男を演じます。他、男性出演者もローマ男になり切っており、そのなりきりぶりもお楽しみ下さい。

『コンタクト』

FOXムービー プレミアム

1997年 アメリカ

監督：ロバート・ゼメキス 原作：カール・セーガン

出演：ジョディ・フォスター トム・スケリット ジェームズ・ウッズ
ジョン・ハート マシュー・マコノヒー

8月30日(金)23:00 8月31日(土)15:55

SETIとは《地球外知的生命体による宇宙文明の存在を検知しよう》というプロジェクト - (Wikipediaより)。プロジェクトに参加するエリーはアレシボ天文台で探査していたが彼女に批判的な科学者ドラムリンによって打ち切られる。困ったエリーはスポンサー探しに奔走。やっとスポンサーに資産家ハデンを見つけ探査を再開する。

そしてある日。ついにエリーは、地球からはるか遠いヴェガからの電波を受信。解読すると知的生命体からの発信と判明。しかし、その事がわかると今まで冷淡だったNSAなどが介入してくる。さて、電波を解読してみると何かの設計図でヴェガへの移動装置らしい。乗船できるのは一人。エリーは乗務員に志願するが、いろいろな思惑からドラムリンに決定してしまう…。

アメリカの天文学者・カール・セーガンが自らの研究を元にした小説が原作。宇宙への道程の美しさは、これに勝る映画はまだ見た事はない。

☆↑CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。m(_ _)m

☆ 読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらコメントでご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！m(_ _)m 貴樹諒音

『猿の惑星』

1968年 アメリカ
監督：フランクリン・J・シャフナー
原作：ピエール・ブール

出演：チャールトン・ヘストン キム・ハンター
ロディ・マクドウォール モーリス・エバンス

地球よりはるか離れた星。そこに、1年6ヵ月前地球を飛び立った宇宙船が不時着した。

計算によると、地球ではもう二千年経っており、この星はオリオン星座の星の一つのようだ。

宇宙船の乗務員は4人。リーダーはテイラー・メンバーはドッジ、ランドンで地球を飛び立つも、睡眠装置に故障が生じ、たった一人乗っていた女性は死亡しており、宇宙船は星の湖に落ちた為水没してしまう。

その星は砂漠に覆われ、三人は生きる場所を求めひたすら歩く。やがて、広い森で人間を見つけ三人は驚くが、どうも様子がおかしい。そこへ突然、武装した猿が現れ、人間達を《狩り》始めたのだ！

人間である三人も当然追われ、テイラーは捕まってしまう。その際、喉にケガをしてしまい、しゃべられなくなりその星の人間の女と同じ檻に入れられてしまう。

その檻を管理するのは、生物学者のジーラ。いち早くテイラーの高い知能を知り、恋人で考古学者のコーネリアス博士とテイラーを理解しようとする。

そこで、ジーラは猿社会の指導者・ザイアス博士に伝えるが彼は何故かテイラーの存在におびえる…。

ラストがあまりにも有名なSF映画。しかし、現在・日本では福島で今でも放射能に犯され、世界に原子力発電所が作られる現在《戦争》ではなく、もっと愚かな原因で同じ事態に陥るなりかねないかもしれないと想像させる一番怖い映画かもしれません。

Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie Cinema CinemaFilm Movie CinemaFilm Movie Cinema TVMovi

☆ 次回発行予定・8月は第二・四金曜日です。次回発行は9月6日発行です。

シネマズライフ 45号
発行人：貴樹諒音
発行日：2013年8月23日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
告知ブログ
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

【編集後記】

☆今年は特に暑い。しかし、人間が生きている以上地球も生きていい年・涼しい年もある訳だから当然、暑い訳。今更地球温暖化！っと言って人間が騒いでもどうしようもないのだろうと思う。

それよりも人間がかしているフクシマの原発事故処理。人間にもできないのが後始末をしないのだが、東京電力が悪いのか、ほっておいた日本政府が悪いのか？

一方でこの事態になっても日本政府は、自国の《原発》を海外に売ろうと目論んでいる。

そんな事より放射能無毒化をなぜ研究しないのだろうと思うのだが…。ほんとにできないの？無毒化は？

☆ まだまだ猛暑が続きますます。皆様お体大切に！

奥付

シネマズライフーcinemaz-lifeー４５号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

著者：貴樹 諒音

メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

《日本映画専門チャンネル》

『テルマエ・ロマエ』

《**FOX**ムービー プレミアム》

『コンタクト』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画

rion_takagiの**My**ムービー

http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--

※＆ 他にもいろいろやってます。**(^^;)** ※＆

お世話になっているインターネットＴＶ

netchannel KYO

内で番組作ってます。

『カラフルタイムズ』

新タイプの映画紹介とコラムです。

m(_ _)m ダウンロードで鑑賞できます。 **m(_ _)m**

http://www.nc-kyo.com/watchtvprogram_karafuru.html

『オススメ犬映画』

http://www.pet-c.net/column/movie/index.php

犬の映画を紹介してます。

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸です。

cinemaz-life@movie.nifty.jp

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：ブクログのパブー（http://p.booklog.jp/）

運営会社：株式会社paperboy&co.